



区政レポートNo.90
杉並区議会議員
杉並わくわく会議代表
松尾 ゆり

2007.10.4.発行
連絡先：
杉並区下井草1-25-36
tel&fax 03-5930-3181
ホームページ：
<http://www.suginami-waku2.net/>

区議会開催中（17日まで）
～杉並病などについて質問しました～

杉並区議会の第3回定例会が開催中です。私は、今回の一般質問で、1.杉並病について 2.清掃行政について（家庭ごみ有料化など） 3.教育行政について（学校統廃合など）の3つを質問しました。傍聴に来てくださった皆様ありがとうございました。今回は杉並病被害者の方も来ていただきました。

杉並病について

「杉並病はいまだに解決しておらず、区長の公約違反ではないか？ 政治家としての区長個人の問題だから、本人が答弁してください。答弁しないということは、私の見解に反論しないと受け取りますよ」とまで言ったのですが、区長は黙殺。かわりに答弁にたった部長は「役所は区長の意を体して答弁しているのですから、その点誤解のないように」。言っていて情けない



区長選挙のちらしを示して質問

でしょうね。選挙公約を翻すのはどこかの知事とも似ていますが、区民、なかでも被害者の切実な願いをふみにじり、答弁では部下を矢面に立てて恥ずかしくないのか。52万区民の生命・財産を守るべき区長の資格なしです。本人も反論しなかった「公約違反」として、皆様に広くお知らせさせていただきます。

現在、全国各地でプラスチックの再資源化のための圧縮施設が建設され、それに対し「杉並のようになるな」と反対運動が行われています。その原点である杉並病に対して、原因糾明と健康調査の実施、さらに被害者の救済を行うことは、杉並区に課せられた歴史的責務といえます。今後とも追及していきます。

学校適正配置（統廃合）について

6月議会では、学校統廃合が大きな話題になりました。文教委員会では、全会一致で「再編構想について、区民意見の提出手続きをとり議論をつくす」つまり区全体の議論が先、という趣旨の請願が採択されました。

ところがその後、教育委員会は、当該（神明中・宮前中）地域周辺の来春新入学予定児童の家庭に対して、まだ決定していない計画素案の送付や説明会を行いま

した。フライングです。

神明中の地元関係者からは「統合が決まったものとして意識され、希望者の心を動揺させる意図的な行為」であると抗議文が出されました。

私は、こういうやり方は、地域の思いや、議会の意思を踏みにじるものではないか、と質問しました。

その結果、文教委員会では、議員から「議会軽視ではないか」との発言があり、教育委員会は「誤解を招いた」と議会に陳謝しました。

だいたい、適正配置の考え方自体が根本的に古いのです。一昔前なら、学校をどんどんつぶして新しい公共施設を建てるのが改革でしたが、今はそういう時代ではないはず。こういう古くさいハコ物行政をいつまでやっているのでしょうか。現状の学校数を維持してゆとりある教育を実現していくべきです。

ゆり発 オリンピック招致決議強行

東京都・石原知事がオリンピック招致の活動をしていることはよく知られていますが、都民の間では「今さらオリンピック～?」「どうせ東京には来ないんだから活動するだけお金のムダでしょ」あるいは「公共事業をやるための口実では」など、当然にも冷たい反応。それで焦ったのか、いま都は各区市町村議会に「オリンピック招致を求める意見書」を上げてほしいと働きかけを強めています。

杉並区議会では、会派どうしの話し合いに何度も取り上げられましたが「反対の会派もあるのだから決議は時期尚早」と見送りになってきた経過がありました。ところが、3日の区議会総務財政委員会で突然このオリンピック問題が議題に上がり、採択されました。

区民団体からの陳情という形での審議でしたが、実は、杉並区議会では区民の陳情・請願は、1度の審査もされることなく店ざらしになるケースが多く、結局議員の改選によって無効になります（必要な場合は再度出し直す）。採否の結論に至るまで審議されるのは全体の約1割にすぎず、杉並区では区民の請願権が著しく侵害されているといえます（こんな議会も珍しいのでは）。

そんな中、今回の陳情は提出されて即委員会で審議となりました。破格の扱いです。なんとも異例だらけのオリンピック招致決議。このまま提出ということになれば、区議会の今後にも禍根を残します。17日本会議で審議されますので、ご注目ください。